

世界バイオ医薬株式ファンド

愛称：世界の薬

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第1期

決算日：2023年10月26日

作成対象期間：2023年5月30日～2023年10月26日

第1期末（2023年10月26日）	
基準価額	9,988円
純資産総額	1,953百万円
第1期中 （2023年5月30日～2023年10月26日）	
騰落率 [※]	△0.1%
分配金合計	0円

※騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）は、下記の手順にてご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

< 閲覧方法 >

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「運用ファンド」ファンド名称より「運用報告書」を選択ください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼を申し上げます。当ファンドは、主として世界各国・地域の取引所に上場しているバイオ医薬関連企業が発行する株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区内神田一丁目13番7号 四国ビルディング9階

< お問い合わせ先 >

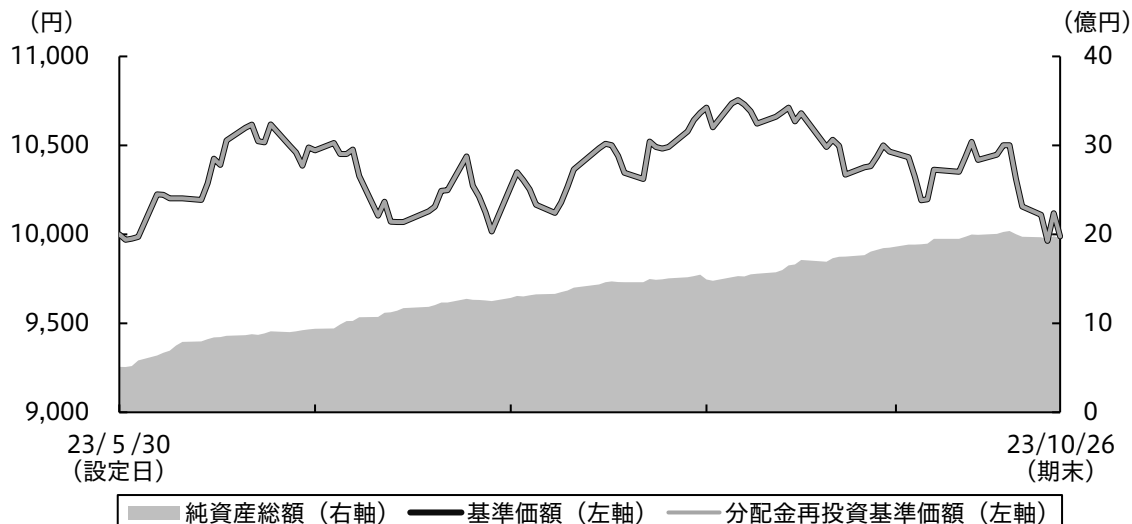
〔電話番号〕 03-5259-7401

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

〔ホームページ〕 <http://www.capital-am.co.jp/>

◆ 運用経過の説明 ◆

1. 基準価額の推移 (2023年5月30日～2023年10月26日)



設定日： 10,000 円

第1期末： 9,988 円 (既払分配金0円)

騰落率： $\Delta 0.1\%$ (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

2. 基準価額の主な変動要因 (2023年5月30日～2023年10月26日)

当期末の基準価額は、設定日とほぼ同じ9,988円となりました。設定日から8月にかけて横ばい圏で推移していたバイオ医薬関連株式の株価が期末に向けて下落したため、基準価額の押し下げ要因となりました。為替市場では、7月上旬には一時的に米ドル安・円高に振れましたが、概ね当期を通じて米ドル高・円安が進み、株価下落の影響が打ち消される結果となりました。

3. 当期中の1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	82円	0.789%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率です。 なお、期中の平均基準価額は10,374円です。
(投 信 会 社)	(47)	(0.451)	・ 委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.316)	・ 運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後のアフターフォローの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	14	0.133	(b)売買委託手数料は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(株 式)	(14)	(0.133)	売買委託手数料とは、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.008	(c)有価証券取引税は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(株 式)	(1)	(0.008)	有価証券取引税とは、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用	19	0.186	(d)その他費用は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(監 査 費 用)	(2)	(0.018)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(保 管 費 用)	(10)	(0.098)	・ 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(7)	(0.071)	・ 信託事務の処理等に要するその他の諸費用（目論見書・届出書および報告書の作成、交付、印刷に係る費用等）
合 計	116	1.116	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

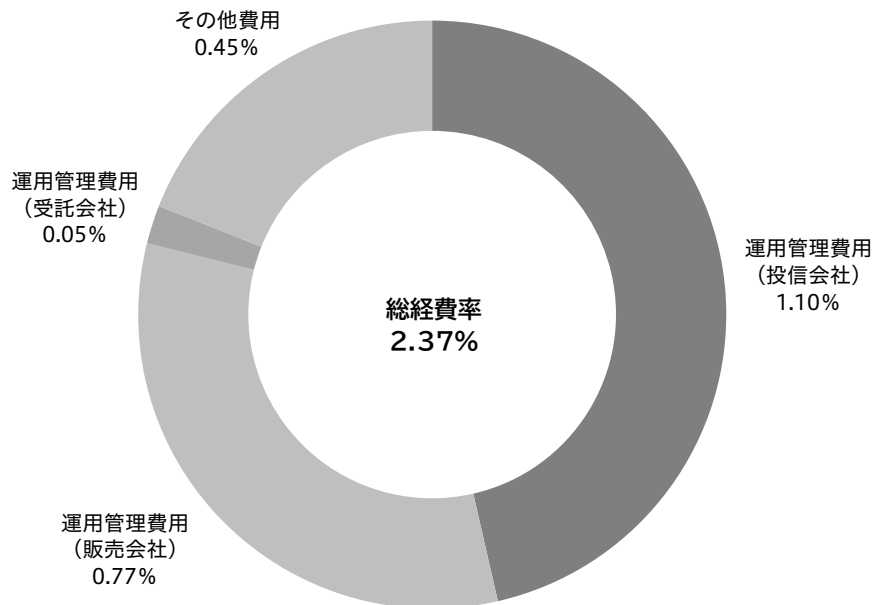
(注2) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は2.37%です。



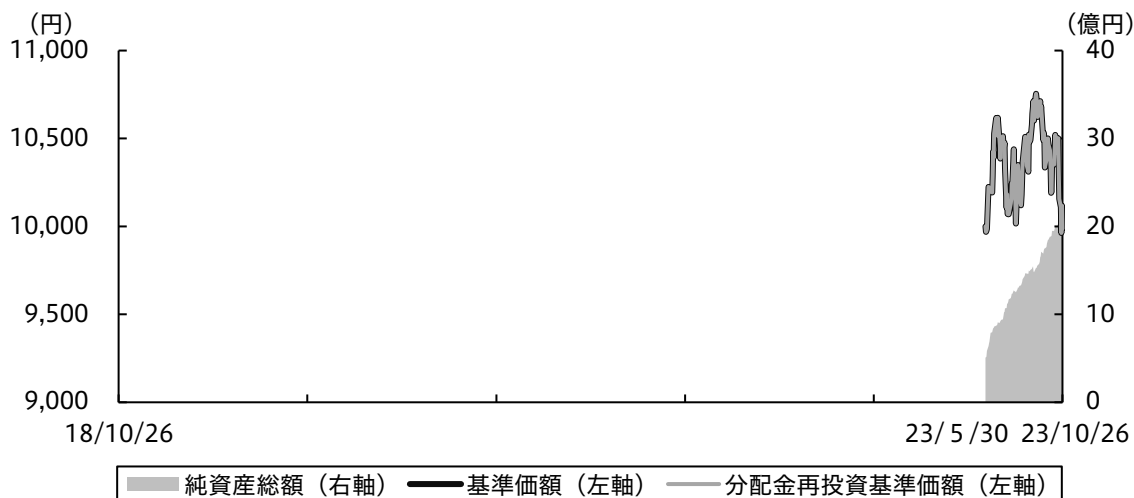
(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4. 最近5年間の基準価額等の推移 (2018年10月26日～2023年10月26日)



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

		(2023/5/30) 設定日	(2023/10/26) 決算日
基準価額	(円)	10,000	9,988
期間分配金（税込み）合計	(円)	-	0
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	-	△0.1
ナスダックバイオテクノロジー株指数 騰落率	(%)	-	△1.8
純資産総額	(百万円)	509	1,953

(注1) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、「ナスダックバイオテクノロジー株指数」を参考指数として表示しています。

(注2) ファンド設定日（2023年5月30日）から5年に満たないため、設定時を起点として計算しています。騰落率は設定日との比較です。

(注3) 期間分配金は、年間の分配金を合計して算出しています。

5. 投資環境 (2023年5月30日～2023年10月26日)

当期のバイオ医薬関連株式市場は、下落しました。設定後から6月初旬にかけて、米国のインフレへの警戒感が後退し、債務上限問題を巡る懸念が払拭された中、米バイオ製薬会社バイオジェンと日本のエーザイが共同開発したアルツハイマー型認知症薬について米食品医薬品局(FDA)の正式認証への期待が高まったこともあり、上昇して始まりましたが、6月後半には、米連邦公開市場委員会(FOMC)で利上げが見送られたものの、年内2回の追加利上げが示唆されたことなどから反落しました。その後7月には、アルツハイマー型認知症薬の正式認証に対する市場の反応は限定的でしたが、米インフレ指標が市場予想を下回ったことを受けて、米連邦準備理事会(FRB)による利上げ打ち止め観測が高まる中、持ち直しました。8月には、格付け会社フィッチによる米国債の格下げ、中国の景気に対する先行き不透明感や同国不動産大手の経営不安などが警戒される場面もありましたが、大手医薬品会社がバイオ医薬技術を用いた肥満症向け治療薬の治験結果が良好であったと発表したことなどを受けて株価は反発しました。

9月に入ると、サウジアラビアが原油の自主減産を年末まで延長すると表明したことなどを受けて原油高となり、米長期金利が上昇する中下落に転じた後も、米FOMCでは2会合ぶりに政策金利が据え置かれたものの、政策金利見通しが市場予想以上にタカ派的な内容だったことや、全米自動車労組(UAW)によるストライキの影響も警戒され、下落基調が続きました。10月に入ってから、イスラエルとイスラム組織ハマスの軍事衝突により中東の地政学的リスクが高まったことや米経済指標の改善を受けて米FRBによる金融引き締め長期化観測が高まり、米10年物国債利回りが16年ぶりに5%をつけたことや、米国での新型コロナウイルスワクチンの接種率が低くなるとの見方なども警戒されて続落しました。

為替市場では、金融緩和策の維持を続ける日銀とインフレ抑制策を進める欧米中央銀行など、金融政策の方向性の違いが注目され、米ドル高・円安で始まりしました。7月上旬には米国の利上げ打ち止め観測の台頭や日本の金融緩和政策が修正されるとの見方などを受けて米ドル安・円高が進展する局面もありましたが、米国景気が底堅さを保つ中、米金融引き締めが長引くとの観測などを背景に、期末に1米ドル=150円台をつけるなど米ドル高・円安が進み、当期の米ドル円相場は、約10円の米ドル高・円安となりました。

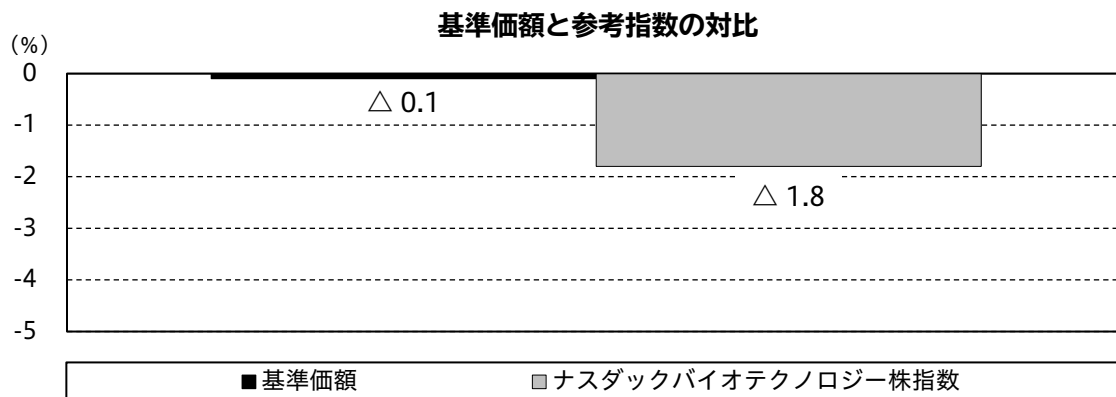
6. 当該投資信託のポートフォリオ（2023年5月30日～2023年10月26日）

株式組入比率は高位を維持し、期末の組入銘柄数は60銘柄としました。

幅広い製品を手掛け、安定した収益基盤などが評価される米バイオ製薬大手アムジェンや、遺伝性難病治療薬の高い成長・収益性に加え、開発中の複数の新薬候補も注目される同バーテックス・ファーマシューティカルズなど、バイオテクノロジー銘柄を中心としたポートフォリオとしております。

7. 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注1) 基準価額は分配金（税引前）込み。

(注2) 参考指数は前営業日の「ナスダックバイオテクノロジー株指数」の終値を当日の為替レート（投信協会発表）で邦貨換算した数値を参考指数として表示しています。

8. 分配金

分配原資、基準価額水準等を勘案し、当期の収益分配は以下の通りとさせていただきます。
留保益は、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第1期
	2023年5月30日～ 2023年10月26日
当期分配金	-
(対基準価額比率)	- %
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	7

(注1) 当期の収益は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、当期の収益以外は収益調整金および分配準備積立金です。

(注2) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税引前)と一致しない場合があります。

◆ 今後の運用方針 ◆

世界的に不透明感が残る金融政策や実体経済の動向などを受けて、株式市場は不安定な動きが見込まれます。しかし、バイオ医薬関連銘柄は新薬承認を取り巻く環境が良好であることなどから比較的安定した推移が見込まれます。

また、バイオ医薬関連株式市場では、M&A(合併・買収)の動きが活発です。魅力的な新薬候補や高い技術力・研究開発力を求めて大手医薬品企業がバイオ医薬関連企業を買収する動きは今後も継続すると見られ、株価にはプラス要因になると考えられます。

一方、薬価の引き下げ圧力の動向に加えて、臨床データや治験結果の発表、決算の内容などには注視が必要です。引き続きファンダメンタルズ分析を行い、企業価値を適切に評価してポートフォリオを構築していく方針です。

◆ お知らせ ◆

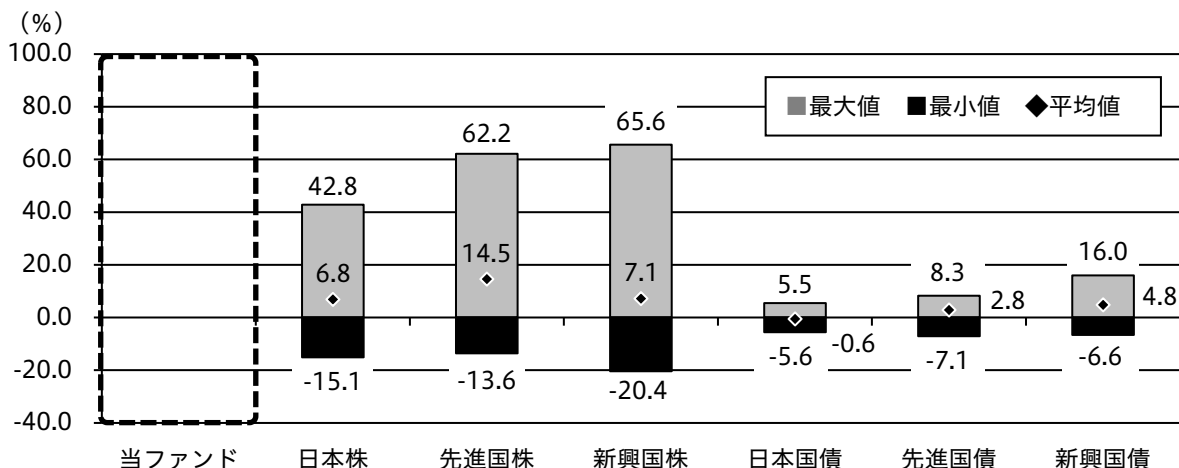
該当事項はございません。

◆ 当該投資信託の概要 ◆

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2023年5月30日(設定日)から無期限
運用方針	信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界各国・地域の取引所に上場しているバイオ医薬関連企業が発行する株式
運用方法	主として世界各国・地域の取引所に上場しているバイオ医薬関連企業が発行する株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんが、機動的に市場変動に対応することがあります。
分配方針	毎決算日(年2回、原則として4月26日、10月26日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

◆ ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆

(2018年10月～2023年9月)



(注1) 代表的な資産クラス：2018年10月～2023年9月

全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドは設定から基準日まで1年経過していないため、表示に必要とする年間騰落率のデータが不足しています。従って、当ファンドの年間騰落率は記載していません。

(注3) 過去5年間の各月末における年間騰落率の最大・最小・平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注4) 各資産クラスの指数につきましては最終ページをご覧ください。

(注5) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、邦貨換算しています。

(注6) 騰落率は当期末の直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

◆ 当該投資信託のデータ ◆

1. 当該ファンドの組入資産の内容 (2023年10月26日現在)

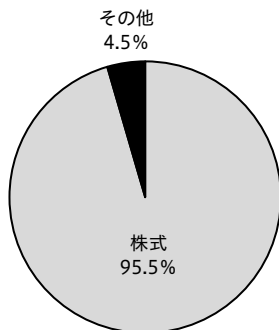
● 組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率(%)
Amgen Inc	米ドル	9.2
Vertex Pharmaceuticals Inc	米ドル	8.3
Gilead Sciences Inc	米ドル	8.0
Regeneron Pharmaceuticals Inc	米ドル	7.7
Seagen Inc	米ドル	5.2
Biogen Inc	米ドル	4.3
AstraZeneca PLC-ADR	米ドル	4.2
Moderna Inc	米ドル	3.4
Alnylam Pharmaceuticals Inc	米ドル	3.0
BioMarin Pharmaceutical Inc	米ドル	2.5
組入銘柄数	60銘柄	

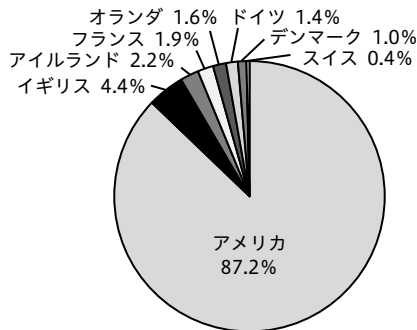
(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

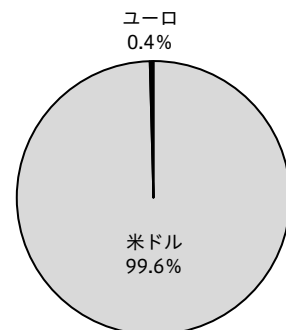
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 資産別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分比率は、発行国・地域で区分しています。

(注3) 各比率の合計が四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

2. 純資産等

	第1期末 2023年10月26日
純資産総額	1,953,620,690円
受益権総口数	1,955,973,821口
1万口当たり基準価額	9,988円

(注) 当期間における追加設定元本額は1,522,633,582円、同解約元本額は76,636,716円です。

◆ 指数に関して ◆

<代表的な各資産クラスの指数>

日本株：Morningstar 日本株式指数	日本国債：Morningstar 日本国債指数
先進国株：Morningstar 先進国株式指数(除く日本)	先進国債：Morningstar グローバル国債指数(除く日本)
新興国株：Morningstar 新興国株式指数	新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

海外資産の指数については、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数値を使用しています。
上記各指数は、全て税引前の利子・配当込みの指数値を使用しています。

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式(除く日本)指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債(除く日本)指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います)が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス(以下「Morningstarインデックス」と言います)の能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。当ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出方式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。